

平成23年度 平取町町民税1%まちづくり事業採択一覧

No.	事業名	事業内容	団体名	事業日程
1	Tokyoアイヌと宇梶静江さん公演の集い	○ドキュメンタリー映画「Tokyoアイヌ」の上映と、関東アイヌ協会のリーダーであり、H23年吉川栄治文化賞受賞者「宇梶静江」さんの公演を町内・外の人と観て生の声を聞くことで、アイヌ民族への理解を深め、異文化の共有を図る。	Tokyoアイヌ上映委員会	6月～10月
2	貫気別劇場2011	○音楽を通し、いろいろなものを感じ貫気別を元気にする。 ○近隣の町村のエンターティナーを一同に集め演奏する。 ・スマイル4ビート（安平町授産施設、目が不自由な人達）・ジャズバンドジュニア（新冠町、小中学生のジャズバンド）・ポーズハーフ（平取町、ベンチャーズの曲を主としたおやじバンド）・幌尻太鼓（振内、子供を主として毎週練習してる）・蛍太鼓（富川、大人が叩き勢いがあり太鼓のすばらしさを見せる）・カラオケ同好会（地元同好会で高性能の機械で歌を聞かす）	貫気別自治会	10月30日
3	イザベラ・バードから見た平取のまち再発見事業	○英国の旅行家イザベラ・バードが、平取を明治11年に訪れたことを町民に伝え、歴史をまちづくりに活かしていく。 ①イザベラ・バード解説板の製作・設置、終点付近で足取りを解説。②解説板除幕式の開催。 ③沙流川フットパスの集い（仮称）の開催。 ○バードが沙流川を渡河した紫雲古津から本町に至るルートを辿りながら沙流川の自然やトマトハウス・田畑の農村景観に親しむ機会を提供 ○明治時代に平取が海外で知られていたことやバードの足取り、平取の歴史を伝え、平取のこれからのまちづくりを考えるミニフォーラムを開催。	イザベラ・バードの道を辿る会	5月～3月
4	第25回ふれあい広場	○25回目の節目を迎え、障害者と地域の方々が「共に手をたずさえ、共に希望を語り合う」中で心のふれあいを深め、障害者の社会参加を促進させていく。 ○ノーマライゼーションショップ（たこ焼き、焼き鳥等）、ふれあい昼食会（おにぎり、豚汁）100円販売、養護学校児童生徒の作品パネル展、ふれあい図書コーナー、よさこいソーラン、ヒップホップダンス、民族舞踊、バンド演奏、民謡ほか、ふれあい抽選会ほか	ふれあい広場実行委員会	8月27日
5	チプサンケ前夜祭 おおたかしずる&坂田明ジョイントライブ イン にぶたに	○アイヌ文化を基調とする音楽芸能の公演を開き、町内外にアイヌ文化の一層の理解の促進と啓発を図るとともに町の活性化につなげる。 ○チプサンケの前夜、アイヌの都・ニ風谷に「おおたかしずる氏、坂田明氏」（おおたかしずる氏、坂田明氏）を招請し、アイヌ文化を基調とする音楽芸能の公演を開催する。	アイヌ協会平取支部 青年女性部	8月20日～21日

平成23年度 平取町町民税1%まちづくり事業採択一覧

No.	事業名	事業内容	団体名	事業日程
6	「食」による地域活性化策“平取町地場産品を活用した新メニューの開発プロジェクト”	○地場産品を使用した新メニューを開発し、町内飲食店にて提供。交流人口の増加と町内消費の促進を図り、地域の活性化に資する。地場産品とは「平取産和牛・黒豚・トマト」をいい、更に平取産のお米、野菜を使用したランチメニューを地産地消の会所属のお店で提供するための、試験研究及び試食会等を行う。	地産地消の会	2月まで、以降継続実施
7	就農希望者への農業体験受入事業	○新規就農を検討している家族に対し、実際に短期の農業体験をしてもらう。体験者の希望によりファームステイし、メンバーとの交流会等も実施。 ○体験希望者への広報は、東京・大阪・札幌での就農相談会で移住の可能性の高そうな家族へ案内、さらに北海道農業担い手センターとの連携にて、センターへの問い合わせ者に対しても案内いただけるよう依頼する	ふれない就農者受入協議会ネオフロンティア	4月～3月
8	アマチュアライブ、ジャズフュージョンライブ平取	○プロライブ 年1～2回プロによるジャズやフュージョン系のライブコンサートを開催する。 ○アマチュアライブ 町内外のアマチュアバンドによりジャンルを問わず、ライブコンサートを開催する。	平取ジャズフュージョンクラブ	4月～3月
9	びらとりホタル再生事業	○ホタルの研究およびその保護・繁殖を行ない、自然繁殖を目指すことにより町民のホタルに関する認識を向上させ文化意欲の高揚を目的とする。 ○ホタルの羽化・産卵用の飼育施設を補充し、放流適地の環境調査と整備を具体的に着手することを基本とする。 (1)ホタルの人工飼育と放流。(2)ホタルの生体に関する調査研究。(3)ホタルが生息できる水辺環境の調査・整備。(4)ホタルの愛護精神の普及啓発。	びらとりホタルの会	4月～3月